

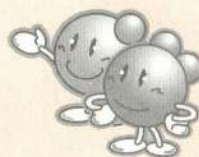
力作がそろいました

入賞者発表

平成12年度 下水道くまのコンクール

問 下水道課 ☎49-3111(内線211)

下水道の普及促進を図るため、九月十日の「第四十回全国下水道促進デー」の一環として、市内の小中学生を対象に下水道をテーマにした作品を募集し、次のみなさんが入賞しました。



ポスター部門 (応募数・小学校の部10点)



花岡小4年 岸 美沙貴さん



矢立小4年 佐藤 菜さん

標語部門 (応募数・小学校の部204点、中学校の部19点)

広げよう 未来につながる 下水道

小学校の部 有浦小4年 小林 滯さん

次世代の 架け橋であれ 下水道

中学校の部 下川治中3年 虻川 秀栄さん

下水道 きれいな水へ リサイクル

小学校の部 有浦小4年 片岡 雄一さん

下水道 きれいな町の ささえ役

中学校の部 下川治中2年 斎藤 淳一さん



国体の施設

整備にあたって

市長リポート

No. 217

国民の体育・スポーツの祭典「国民体育大会」は、会場を各都道府県の持ち回りで毎年開催されています。国体の開催は二巡目に入り、秋田県は平成十九年の第六十二回大会の開催地に決定されました。このうち、大館市は成年男女六人制バレーボールと、ソフトテニスの全種目の競技会場に指定されています。

本市での競技を成功させるためには、現在の施設では国体競技が開催可能とされる基準をクリアすることができませんので、新たに体育館とテニスコートを造る必要があります。そのため、体育館は以前から計画のありました大型体育館整備構想と合わせて、あらゆる屋内競技が開催できる総合的な体育館として樹海ドームに隣接させ、テニスコートは十六面を釈迦内地区、高館下の大館西道路付近にそれぞれ建設することになりました。

とはいえ、体育館はもちろんのことテニスコートにつきましても、建設の目的は国体の開催のためばかりではありません。市民の皆さんに、末長く喜んで使っていただけるような施設を目指していかねばなりません。そこで、整備の手法としまして技術面や財政的な負担も考慮に入れ、都市公園の施設として都市基盤整備公団に基本設計を委託し建設を進めることにしています。体育館が完成しますと、樹海ドームとの相乗効果が期待できます。例えば、樹海ドームを会場にした大型イベントが開催されるときには体育館も併用して活用することができます。また、駐車場もこれまで以上に確保できますので、利用するかたにとつてもさらに便利になることでしょう。

今後は、今年度中に基本設計を終了し、十三年度には施設の実施設計を行います。また、十四年度から建設に着手、十六年度の完成を目指して取り組んでまいりますので、皆さんのご協力をお願いします。

小畑 元